

# 金丸忠仁の て!見て!聞いて!

## その2

# 千葉県習志野市 の視察報告

## 地域担当制と まちづくり会議

H19.9.10



ご意見、ご要望をお聞かせください。

新編  
古今圖書集成

### ③各地域の活動に対する協力・支援 や地域清掃等

平成十九年八月二十九日(水) 拙巻  
市視察を終え、その足で千葉県習志野  
市京成津田沼駅に八時二十分に着き  
すぐ市役所に向かいました。早速、荒  
木勇市長にお会いし地域担当制の概  
要をお聞きしました。

地域担当制

## 背景・目的（実施に至る経緯）

高度成長期に入り、地理的要因による人口の急増及び、社会・政治・経済等の変動にともない、市民の市政に対する需要が多種多様化してきたのを受け、職員の姿勢・発送を住民本位の行政にしていこうとする基本的転換を図り、自治体に内在している「官僚主義」的体制を排除し、市民の市政に対する意向・要望等を的確に受け止め、施策に反映させるための組織機構を構築するため、昭和四十三年八月一日『地域担当制』を発足しました。

『地域担当制』は、地域の実態と住民の実態を把握し、行政へ反映させることを任務とし、「日常生活における

## ②地域のお祭り等への協力

## ②市や地域の「情報を交換する場」

## ①まちづくり会議・まちづくり祭

地域担当職員は、①「広報・広聴」、「活動の担い手」、②地域における「まちづくりの担い手」として位置付けられ、まちづくり会議やまちづくり予算会議に出席し、市の施策や計画等の情報をお知らせし、地域からの市に対する意見・要望を受け止め、市政に反映させるとともに、地域のお祭り等、地域の活動に直接参加し、地域の方々と直に接しながら、地域に根づいた発展の方向を模索し、行政の実効性を高めています。

地域の方々が自分の地域をどうすべきか真剣に討議するとき、市はタテ割行政（業務分担制度）では十分に市民の意見を要望に対応することができません。

運営・役割

**市民参加の理念のもとに『やさしさ』『いきがい』『活性化』の観点から、まちづくりを進めるにあたって、市民と行政が一体となつて地域の問題を考えて、解決策を討議・実践し、市民との交流を通じ市民の声を行政施策に反映させ、市民と行政の相互理解を深めることを目的とし、各地域にそれぞれ設置されています。**

「まちづくり会議」は、地元町会・自治会、老人クラブ、女性団体、公団施設の長など地域に関係する各種団体の代表者や市の地域担当職員などを構成員とし、地域ごとに住民の皆さんのが主体となつて地域の特性を活かしながら開催・運営されています。この会議の果たす役割は次のとおりです。

## 主な活動内容

まちづくり  
会議

- 町会・自治会
- 女性団体
- 各種団体
- 公共施設
- 地域担当職員
- 学校
- 子供会
- 老人クラブ
- 情報交換

地域の交流

地域の話し合い

情報を交換

市政への意見

③自分たちのまちを住みよくするには、何が問題になつていて、どのようにしていけばよいのかをみんなで考える「地域の話し合いの場」です。

④みんなで話し合ったまちづくりの考え方や方策を実現するためには、「役割を決め、実行に移す場」です。

⑤みんなで話し合った「地域における意見や要望等を直接市政に反映させる場」です。

南アルプス市の将来を考え、またこれからより良いまちづくりを目指した時に、地域担当制は必要と今回の視察を終えて強く思いました。

実際に市役所と市民の間で、「苦労なされている区長様方の考え方をお聞きしたい」と思いますのでよろしくお願い申し上げます。

今回の視察に際して荒木習志野市長様はじめ職員の皆様には突然の訪問にも関わらず親切丁寧な対応をして頂きありがとうございました。

始めに荒木勇市長の話で職員は通常業務と地域貢献の一いつの仕事をあると言う言葉に、地域担当制の原点を見た思いがしました。まちづくり推進課の話を聞き、小学校区に上記地域担当制とまちづくり会議が十六地区あり、長い時間と共に確立された組織である事がわかりました。市民からの苦情・要望が「すぐきく課」「まちづくり会議」「市議会議員」と色々な所から市役所に寄せられ住民サービスに役立つていました。

南アルプス市でももう少し市民に近づいた、各区内に担当職員を割り当てるのがいいのではないか！と言う考え方から六月定例議会で市役所と区のパイプ役を！と言ふ質問をしました。この質問に市民の反響が多く寄せられ、九月定例議会で再度質問しようと考え、地域担当制について調べましたら、十六万都市の習志野市が早くから取り入れている事がわかり八月二十九日に視察に行ってきました。

## 視察を終えて